

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
国際ビジネス公務員 大学校	昭和59年3月1日	双石 茂	〒963-8002 福島県郡山市駅前一丁目12番2号 (電話) 024-923-4665				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 国際総合学園	平成7年3月24日	池田 弘	〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町二番町541番地 (電話) 025-210-8565				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	国際観光科	平成22年文部科学省 告示第31号				
学科の目的	本校は、商業実務関係・教育社会福祉関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科である国際観光科においては、日々変化する観光業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。						
認定年月日	平成 27年 2月 17日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	1,864時間	614時間	96時間	1,154時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	11人	6人	1人	6人	10人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験、授業態度、実習成果等により評価		
長期休み	■学年始:4月1日～4月6日 ■夏季:7月20日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月7日 ■学年末:2月11日～3月31日		卒業・進級 条件		出席率90%以上の出席と科目履修終了により進級・卒業とする。		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談、保護者面談、欠席者に対する補習等を適宜実施		課外活動		■課外活動の種類 サークル活動 球技大会実行委員 学園祭実行委員 ■サークル活動: 有		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 旅行会社・バス会社・テーマパーク・ホテル ■就職指導内容 求人サイトへの登録斡旋、就職相談、履歴書・エントリーシート の添削、面接指導等 ■卒業生数 6 人 ■就職希望者数 6 人 ■就職者数 6 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (平成 29 年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 国内旅行業務 取扱管理者 ③ 6人 6人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等		
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 平成29年4月1日時点において、在学者13名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者12名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路の方向性が変わったため ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による欠席確認の徹底、定期的な個別面談、モチベーション教育、教職員の情報共有、カウンセリングの実施		■中退率 8 %				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度:入学対象者および進級生を対象とし、成績・実績・面接試験をもとに選考。入学金や授業料を免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無						
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.jo-bi.jp						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

観光業従事者育成において、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、国内旅行業務取扱管理者試験の対策のほか、すべての在學生は、地元観光会社と連携してツアーを企画・立案・実施する実習を行なっている。今後、旅行会社・旅館等のご意見や學生の意見をもとに教育課程の改善を行なう方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
星 永重	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部 副部長	平成30年4月1日～平成31年3月31日	①
影山 幸一	福島交通観光株式会社 課長補佐	平成30年4月1日～平成31年3月31日	③
山口 松之進	郡山観光交通株式会社 代表取締役社長	平成30年4月1日～平成31年3月31日	③
佐藤 宗	国際ビジネス公務員天学校 国際分野 学科長	平成30年4月1日～平成31年3月31日	③

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

委員会は、原則として(7月)及び、年度末(11月)の年2回は、必ず開催する。また、業界動向の変化や学科の状況等により、必要性に応じて適宜開催する。

(開催日時)

第1回 平成30年7月30日 11:30～12:30 平成29年7月20日 14:00～15:00 実施済み

第2回 平成30年11月15日 13:30～15:00(予定) 平成29年11月16日 14:00～15:00 実施済み

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程委員より旅行業界において、旅行に関する資格(特に総合旅行業務取扱管理者)が重要視されていない会社もある旨のご意見があった。平成30年度のカリキュラムより1年次前期は国家試験の国内に注力するも、2年次は国家試験の総合はカリキュラム上は取得を目指さない内容とした、国家試験にあてていた学習時間を、連携・実践授業にあてる時間とし、より実践的に深い内容を行なえるよう修正した。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

卒業後の即戦力を目指すため、インターンシップ実習を強化し、受入れ企業に対しては、マンツーマンの指導者対応を要請するとともに、複数部署での実務研修を実施する方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・旅行のプランニングにおける企画造成の指導
- ・添乗実習時の添乗業務の業務・接客指導
- ・旅行即売会時の接客指導
- ・インターンシップにおける業務指導

各実習については、連携先企業の担当者に実習時の取り組みへの積極性・コンテンツ・貢献度を学校の評価表をもとに評価いただき、レポート等を加味し総合的に評価とする。

科目名	科目概要	連携企業等
観光実務	留學生との福島インバウンド(福島県委託事業) 県中地域を対象に、留學生目線による地域の魅力発掘を行なう。外部の有識者による講話・フィールドワークを行ない現状を知り、インバウンド向け観光ルートの造成等を行なう。講話後のレポートおよび取り組みの様子等を評価表を用い総合的に評価する。	福島ツーリストサービス、湯野上温泉「藤龍館」、他1件
観光実践実習	添乗実習・旅程管理研修などの実践実習等を通し、実際の旅行会社の仕事に触れる。実習後に企業担当者による評価を記載した評価表を提出してもらうとともに授業への取組等を総合的に評価とする。	福島交通観光 孫の手トラベル

インターンシップ実習	企業に訪問し各企業の講師からの指導。 各実習で学んだことを活かし、実際の旅行会社・旅館等にて観光業のスタッフを目指した実習を行なう。実習後に企業担当者による評価を記載した評価表を提出してもらい評価とする。	福島交通観光、H.I.S. 他3件
国内旅行プランニング	国内研修旅行のプランニングや旅行商品の企画・販売等を実践的に行なう。各実習における取り組みへの積極性・成果物・貢献度等を企業担当者からの評価表を用い総合的に評価する。	福島交通観光、H.I.S.

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。また研修に関しては年間スケジュールに法り、計画的に実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 JTB総合研究所主催意見交換会 」(連携企業等: JTB総合研究所)
 期間: 4月19日(木) 対象: 学科教員
 内容: 国家試験における年度の状況と今後の対策の研修

研修名「 JTB総合研究所主催新学期準備研究会 」(連携企業等: JTB総合研究所)
 期間: 4月25日(火) 対象: 学科教員
 内容: 外部講師による就職活動における注意点や・効率的効果的な活動方法についての研修。

研修名「 ツーリズムEXPO視察研修 」(連携企業等: JTB総合研究所)
 期間: 9月22日(土) 対象: 学科教員
 内容: 旅行の最新トレンドを習得できる場であるツーリズムEXPOに参加をし、視察をするとともに担当者より観光地の現状を学ぶ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 就職研修 」(連携企業等: 株式会社キャリアパー)
 期間: 4月24日(火) 対象: 学科教員
 内容: 外部講師による就職活動における注意点や・効率的効果的な活動方法についての研修。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 JTB総合研究所主催意見交換会 」(連携企業等: JTB総合研究所)
 期間: 12月18日(火) 予定 対象: 学科教員
 内容: 外部講師による国家試験における年度の状況と今後の対策の研修。

研修名「 JTB総合研究所主催新学期準備研究会 」(連携企業等: JTB総合研究所)
 期間: 3月15日(金) 予定 対象: 学科教員
 内容: 外部講師による次年度の授業における外部講師による講話と意見交換。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 就職研修 」(連携企業等: 株式会社キャリアパー)
 期間: 11月12日(火) 予定 対象: 学科教員
 内容: 外部講師による就職活動における注意点や・効率的効果的な活動方法についての研修。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校: 26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標
(2) 学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善
(3) 教育活動	教育の内容
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育の実施体制

(7)学生の受入れ募集	学生支援
(8)財務	管理運営(法人)
(9)法令等の遵守	管理運営
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11)国際交流	留学生状況・国際提携校・国際交流活動

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

今回の委員会において観光科科については特段の意見は見られなかった。全体として離職率の公表のための追跡調査の継続と公的機関との連携実績をさらに推し進めていくことがよいのではという意見があり、現在、連携先である企業に対して毎年実施できるイベント等の企画について相談を進める。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年9月13日現在

名前	所属	任期	種別
三部 吉久	税理士法人三部会計事務所 代表社員 所長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
霜鳥 勉	郡山商工会議所 開発事業部 部長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
影山 幸一	福島交通観光株式会社 郡山支店 課長補佐	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
秋葉 啓一	ハマツ観光株式会社 宴会婚礼課兼宿泊課支配人	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
佐藤 靖弘	鏡石スポーツクラブ 理事長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
持丸 淳	クオール株式会社 北海道東北薬局事業本部 東北第一事業部 事業部長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
山崎 督	城西国際大学 環境社会学部 環境社会学科 准教授	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	大学准教授

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

ホームページで公表(毎年9月1日に更新)

URL:http://www.jo-bi.jp

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2)各学科等の教育	学科別カリキュラム・特色・資格・就職実績
(3)教職員	専任教員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事・対外活動・イベント・施設・設備
(6)学生の生活支援	各種奨学金制度・学生寮・住居紹介
(7)学生納付金・修学支援	各種奨学金制度・学費サポート・特待生制度
(8)学校の財務	収支決算書
(9)学校評価	自己点検評価結果
(10)国際連携の状況	留学生状況・国際提携校・国際交流活動
(11)その他	生涯学習・編入学等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページにて公開

Webページ URL:http://www.jo-bi.jp

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際観光科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			コミュニケーション論Ⅰ	ビジネスシーンに通用するコミュニケーションの手法を学ぶ	1 前	28	1	△		○	○			○	
○			キャリアプランⅠ	職業観の育成・進路指導に関わるグループワークや授業を行う	1 後	42	1	△		○	○		○		
○			レクリエーション実習	球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	1 後	6	1			○	○	○			
○			就職研修	就職活動に向け、姿勢や挨拶など実践的な研修を実施	1 後	10	1			○	○		○		
○			国内観光資源	国内の観光地をエリアごとにまとめ、魅力をプレゼンテーションする	1 後	28	1			○	○		○		

○		旅行プランニングⅠA	研修旅行に参加するにあたり、下調べを行なう	1前	20	1			○	○		○		
○		旅行プランニングⅠB	学科の研修旅行を、旅行会社監修のもとプランニングをし、プレゼンテーション・旅行準備・添乗まで一貫した旅行会社の仕事を体感する	1後	44	1			○	○		○		○
○		Word実習	ワードの操作方法と文書作成方法を習得する	1前	48	1			○	○				○
○		Power Point実習	PowerPointの操作方法とプレゼンテーション力を養う	1後	28	1			○	○				○
○		英会話ⅠA	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	1前	32	1			○	○				○
○		英会話ⅠB	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	1後	28	1			○	○				○
○		ホテル業界研究	観光業界の一つホテル業界の研究をし、発表を行なう	1後	28	1			○	○				○
○		MICE実習	MICEの運営を視野に入れ、卒業研究のプレゼン大会の運営・実施	1後	20	1			○	○				○
○		観光実務Ⅰ	福島県内の訪日観光客数を増加させるためのプロジェクトを企画・運営する	1後	32	2			○		○	○		○
○		観光実践実習Ⅰ	国内研修旅行・添乗実習・旅程管理研修などの実践実習	1前	48	1			○		○	○		○
	○	インターンシップ実習	希望業界の業種にてインターンシップを通し職業観を養う	1後	20	1			○		○			○
	○	ボランティア実習	ボランティア活動を通し、積極性やコミュニケーション力を強化する	1前	20	1			○		○			○
	○	地域振興事業応援実習	地元のバスケットチームを応援し、地域復興に向けて取り組む	1後	20	1			○		○			○
○		コミュニケーション論Ⅱ	ワークショップを用いてコミュニケーション能力を養う	2後	16	1	△		○	○		○		

○		卒業研究	自分が興味を抱く異文化の研究・調査・プレゼンを行う	2後	48	1			○	○		○		
○		レクリエーション実習	球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	2後	20	1			○		○	○		
○		国際文化研修	異文化体験を通しグローバル社会に対応する国際感覚を養う	2後	40	1			○		○			○
○		観光実務Ⅱ	福島県内の訪日観光客数を増加させるためのプロジェクトを企画・運営する	2前	64	2			○		○	○		○
○		観光実践実習	国内研修旅行の添乗業務などの実践実習	2前	30	1			○		○	○		○
○		海外旅行プランニング	国際文化研修に向けた準備や海外旅行のプランニングを行なう	2後	48	1			○	○		○		
○		英会話ⅡA	観光地・観光施設での英会話を、ロールプレイ形式でネイティブスピーカーの講師より学ぶ	2前	32	1			○	○				○
○		英会話ⅡB	観光地・観光施設での英会話を、ロールプレイ形式でネイティブスピーカーの講師より学ぶ	2後	32	1			○	○				○
○		国内旅行プランニングⅡA	旅行会社監修の元、国内研修旅行の企画・準備を行なう。	2前	48	2			○	○		○		○
○		国内旅行プランニングⅡB	若者向けのアンケートを実施し、旅行商品の企画・販売を行なう。	2後	104	3			○	○		○		○
○		Excel実習	エクセルの操作方法と表計算処理の方法を学ぶ	2前	32	1			○	○				○
○		ビジネス電話演習	ビジネスの場における正しい電話対応を実習形式で学ぶ	2後	28	1			○	○				○
○		イベントプランニング	前期の学びを活かし、イベントの企画を立案し、プレゼンテーションを行なう	2後	20	2			○	○				○
	○	地域振興事業応援実習	地元のバスケットチームを応援し、地域復興に向けて取り組む	2後	20	1			○		○	○		○

		○	インターンシップ実習	希望業界の業種にてインターンシップを通し職業観を養う	2後	50	1			○	○			○
		○	ボランティア実習	ボランティア活動を通し、積極性やコミュニケーション力を強化する	2後	20	1			○	○			○

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
90%の出席と科目履修終了により卒業。履修方法は科目の特性に合わせ講義・演習・実習の形式をとる。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	16週	